

PR21668

☆JBN 外0280 (産業、ウェブサイト) (06・3・7)

【産業担当デスク殿】 21668

◎残される子供に思い出ノートを 死を前にした親に書式を提供

【ヌンスペート (オランダ) 8日PRN=共同JBN】 死を前にした両親が子供たちに残す思い出ノートを作るために利用できる定型書式を掲載したウェブサイト <http://www.remembermewhenimgone.org> が開設された。

思い出ノートを残すというコンセプトは親の早過ぎる死が迫ったとき常に考えてよいことだが、これまでのところ主としてエイズ関連のプロジェクトで使われ、非常に有用であることが照明されてきた。エイズ撲滅を目指す「ストップ・エイズ・ナウ！」の指導者のショーラ・ディッカーズは「親を早く亡くすことは子供に一生続く影響を残す。親の死後、子供は大切にし、亡くなった親の思い出を残す形のあるものが何もないことが多い。思い出ノートは親の死で受けた情緒的な打撃をある程度和らげることができる」と言う。

自分の人生についての個人的な思い出ノートを作り、そこに自分たちの希望や恐れ、夢を書くことで、親たちも近づく死を受け入れることができる。家族内で近づく親の死についての話し合いが始まり、家族のそれぞれが親の死とその避けられない結果を受け入れるために互いに助け合うことも可能になる。

この「私が死んだ後も忘れないで」プロジェクトはウェブサイト <http://www.remembermewhenimgone.org> を通じて商品登録されていない思い出ノートの定型書式を提供することによってすべての人に思い出ノートの考え方を採り入れることができるようにする。

この定型書式は無料でダウンロードでき、現在29の言語で入手が可能。定型書式はそのまま無料でなら自由に配布することもできる。

「私が死んでも忘れないで」プロジェクトは予算もない非営利の運動で、子供たちが大きくなる前に死ぬことになる親たちを励まし、意欲を持たせ、子供たち、その1人1人のために自分たちの人生についての思い出ノート作りを助けることを目的としている。

(編注) 報道用の画像は <http://www.remembermewhenimgone.org/press> で入手可能。

「ストップ・エイズ・ナウ！」は Aids Fonds、Hivos、ICCO、Memisa(Cordaid)、Novib(Oxfam)のパートナーシップ。「ストップ・エイズ・ナウ！」についての詳しい情報は <http://www.stopaidsnow.nl> まで。

(了)

▽問い合わせ先

Titia Liese +31-341-260289

Marjon Jens +31-71-5190749

Juliette Reinders Folmer +31-6-5424-1642

press@remembermewhenimgone.org

all for www.remembermewhenimgone.org

Web site: <http://www.remembermewhenimgone.org>